當撰俳優の肖像

青年俳優藝道奬勵の爲め勉て本社が募集したる投票の結果は市川米藏、市川猿之助、尾上菊之助の三名高點を以て當撰したるに就き右當撰者の外に梨園社會の老將として有名なる市川團十郎、尾上菊五郎、市川左團次の三名を加へ都合六名の肖像を美麗なる石版摺と爲し本月末の時事新報附錄として皆く購讀者に頒つべし

時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價遞送料廣告料は左の如し

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月極休刊

〇時事新報社ヨリ直接ニ郵送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢ノ郵税料ヲ申受ク

時事新報廣告料（箱宮）

一行五號活字廿四字詰	一日限一日以上七日以上
一　行　ユ　付十三錢	十一錢五厘

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものあり是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を掲ぐるみと寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんみとを請ふ

時事新報

水産の保護

世界萬國の歴史を見るに太古蒙昧の人民は何れも水草を逐ふて移轉したりと云へり蓋し水草を逐ふとは食物を得るが爲めにして即ち河海の魚類、原野の草根菓實等、天然に食物の多き處を求めて之に就き其處るに及んでは更に去りて他に移り轉々定めなきみとなりしならんなれども天然の產物は自から限りあるが故に次第に人口の增すに隨て次第に欠乏を告げざるを得ず是に於てか牧蓄の必要を感じ次て播種耕作の法を工風し次第に人工を以て食物を得るの域に進むみと人間進歩の順序にして尋常一樣の談なれども扨今日の水產なるものは矢張り天然の物產にして河海の廣き種類の多き目下の處にては洽も無盡藏の如くなれども人口の年々增加するに隨て其需用もます〳〵大なるのみならず人智の進歩と共に自から消費額を增すの事實も亦疑なければ單に天然の產出に一任して更に意を加へざるときは其無盡藏にも自から限りありて何時しか盡くるの期なきを得ず既に其徵候とも云ふ可きは北海地の鮭にして從來年々の漁獲は夥しきものなりしが近年同道の開くるに隨ひ次第に其額を減じて今後の掛念少なからざるより近來は取締の法を設け鮭兒生育の季節には特に番人を置て漁獲を禁するに至りたりと云ふ偖り北海道のみ然る可きにあらず天然に產する水產物は何れも同樣の次第にして永く其無盡藏を利せんとするには人爲を以て之を保護するのみならず更に進んで大に養殖の法を講ずるの必要あるを見る可し抑も水產養殖の法は種々にして從來全く魚類を產せず或は他の種類は產するも或る一種に限りて產せざる河川又は湖水に其種子を放て之を生育せしむるみと日光なる中禪寺湖の養魚に於ける利根川其他の鮭に於けるが如きものあり又は全く人工を以て魚類を製造養成するみと深川近傍に於ける泥鰌もしくは鰻の如きものあり殊に人工の製造法は容易にして相應の利益もあり由なれども就中最も利益の見込あるものは牡蠣の養殖なりと云ふ聞く所に據れば品川灣一帶の海面及び房總地方の海岸は全國中最も牡蠣の養殖に適當の場所にして其方法は極めて容易なる其上に牡蠣の需用は單に內國のみならず西洋人一般に珍重する所のものなれば鑑識に製して輸出するときは必ず非常の利益ある可し其有利の業たるは疑なく且みれに着手するも易けれども唯困却の事情と云ふは外ならず折角資金を拋て養殖に從事するも海面は恰も共有の場所にして他人の濫入を防ぐに由なく着手者が其利益を受くるみと能はざるの一事なりと云ふ斯くては單に一個人の企業心を害するに止まらず水產業の發達を妨げて國の利益を損するものなれば何とかして之を保護するの工風なかる可らず例へば其業を企る者には恰も今の鑛山の借區の如く政府の筋より若干の年月を期して或る面積の場所を貸渡し其期限の間は借區人に使用權を許すが如きも一法なる可し斯くなる上は當業者は其借區海面に於て自由に養殖の事を行ひ牡蠣の繁殖が三年にて成るものなれば特許の海面を三區に分ちて初年には種を下し次年には專ら成育を謀り三年目に至り始めて採取に着手するの順序として年を逐ふて三區更番に利益を收るが如き工風もあらば充分國水產業の奬勵保護に關しては尙は種々の工風方法ある可し幸ひ政府には水產調査委員の設ありもあるみとなれば篤と此邊の調査を遂げて時勢相應に法律の規定あらんみと希望に堪へざるなり

官報

○逓信省告示第百七十二號

日本帝國及在朝鮮國日本帝國郵便局發清國北京及同國鎭江外七港宛郵便物ノ郵便税率左ノ通改正ス但郵便税ハ前拂ニ限ル

明治二十六年六月十七日　逓信大臣伯爵黑田清隆

地名	信書十五書留	婚書一枚	印刷物五「グラム」	商品見本
北京	一〇錢	五十「グラム」迄毎ニ	五十「グラム」迄毎ニ	五十「グラム」迄毎ニ
鎭江	二〇錢	一錢	一錢	一錢
宜昌	五錢	一錢	一錢	一錢
九江	二〇錢	一錢	一錢	一錢
南京	五錢	二錢	二錢	二錢
湖州	二〇錢	五錢	五錢	五錢
蘇州	五錢	一錢	一錢	一錢
牛莊	一〇錢	四錢	四錢	四錢
太沽	一〇錢	四錢	四錢	四錢

地名	訴訟用及商業用書類			
北京	五十「グラム」迄毎ニ	五十以上五十「グラム」毎ニ		
鎭江	五錢	一錢		
宜昌	五錢	一錢		
九江	一〇錢	二錢		
南京	一五錢	二錢		
湖州	二〇錢	五錢		
蘇州	一四錢	五錢		
牛莊	一七錢	五錢		
太沽	二〇錢	五錢		

明治二十二年（十一月）常廣告所第二百十六號明治二十三年（一月）常廣告所第十號廢止ス

○逓信省告示第百七十三號

日本帝國及在朝鮮國日本帝國郵便局發清國北京鎭江宜昌九江南京温州蘇湖牛莊太沽宛郵便物ハ左ノ制限ヲ超ユルヲ得ス

明治二十六年六月十七日　逓信大臣伯爵黑田清隆

長　曲尺一尺五寸　幅　厚　曲尺七寸　曲尺五寸　重量　曲尺七百目

但明治二十五年（九月）常廣告所第二百二十號廢止ス

雜報

○山陽鐵道會社臨時株主總會の決議　前號の電報に記載したる如く山陽鐵道會社臨時株主會は去る十五日午前十一時大坂平野町堺卯樓に開會せり出席株主二百十四名此株數十三萬九千三十株利個數一萬三千二百十一個にて社長松本重太郎氏議長席に着き豫て配布せし同會社定款改正案（已に本紙上に記載せしもの）の議事を開きたりしが龜岡億太郎氏は起て原案廢棄說即ち從來の定款にて別に不都合なければ今俄に之を改正するの必要を認めず依て議定を要する迄もなく速に返上せんとの反對說を述べ之に對し原案維持說もありしが結局其多數は廢棄に傾きたるより株權利個數を用ひず起立に問ひしに大多數を以て改正案を返上するに決したれども返上とは少しく穩當を欠くの恐れあれば改正の必要ある迄は延期する事に決し置く事とし尙は山陽鐵道株式會社と改むる事等は重役に一任する事に決し十二時閉會したるよし斯く定款改正に反對せし原因は種々ありしならんなれども其主とする處の說を聞くに第一從來の權利個數は十二株迄は無權利にして又三百個を極度とするを今回の改正案は一株に一個の決議權を付せんとするものなれば之は畢竟或る大株主の併呑策なりと株主に說き廻りし者ありたれども商法施行規則第十條第二項の官許を得たる既設會社は商法を遵率するに及ばず云々の項目を楯とし從來の定款を維持せしなりと云ふ

○地方通信一束

○單級分教室　宮城縣尋常師範學校附屬小學校の單級分教室は設立以來參觀を謝絕し居りしが授業法等略整頓したるを以て此程より參觀を許すみとになりたりと云ふ

○古河銀行　茨城縣西葛飾郡古河町製絲同業者一同協議の上古河銀行へ六萬圓借用の事を申込みしに略承諾せしも利子の點に於て折合はざるより同業者は東京銀行より借入るゝみとに決したりと云ふ

○父子の自殺　一夜に千金を撒き散らして一時の豪遊に黃白世界の將軍を氣取る御曹子もあれば一日一飯の貧にも窮して身のはかなきを嘆つ痴漢もある世の中、貧富貴賤は一樣ならねば不幸薄命の者も多かるべくみれど世に珍らしき憐れの限りと云ふには外ならず千葉縣本新嶋村の農坂本某は日々の稼ぎに一家睦まし く暮らし居りしも其實父と共に病附きしより醫藥の入費に家財を傾け暮向も追々不如意に赴きしかば家族に對し氣の毒なりとて去る十二日午前十一時頃八疊の間に布團二枚を敷並べ父子共に自殺したりと云ふ其實情は富豪者の到底思ひ及ばざる所なるべし

○能美自由會　去る十一日自由黨石川縣支部能美郡同黨の常議員を撰擧するため同郡黨員の集會を開きしに農家繁忙の時にも拘らず來會者百七十八名ありて撰擧の件を議し更に同會を能美自由會として永く持續するみとに決し同會規則をも議定したる由

○石川縣水產會　金澤市の公園博物館にて同會を開き來會者四十餘名にして左の各項を議し役員を撰擧したるよし

一、會則の修正
一、役員の改撰及び
一、總裁の推戴
一、明年開會の期
一、會を開設せん
一、從來發行の報告
一、外にも實却する

○衛生支會　大日本私廳福井市に開き會頭に黃三氏を撰擧し更に同東たるよし

○樹の中毒　福井縣今女某は近隣の女兒四五る果實を拾ひしかば何え他の者にも與へなの長女は追々苦痛を至りて遂に死去したり粒を食し他の女兒等はく苦痛は感じたるも生

○奈良町會議員　奈良町民は不服を唱へ町會まで總辭職を爲し其後て已を得ず奈良郡役所を處理し居りしが昨今て去る十一、十二の町は何れも就職したるに過ぎざれば更に異議る筈なりと云ふ

○神戸市の煙突　大小四十七尺以上のものは

尺數	物質	形狀
百二十尺	煉瓦	八角
百二十尺	同	同
百二十尺	同	同
百尺	同	同
九十二尺	同	同
七十八尺	同	同
七十二尺	同	六角
七十尺	同	同
六十九尺	同	同
六十五尺	同	四角
五十六尺	鉄	八角
五十二尺	煉瓦	丸
五十二尺	同	四角
五十一尺	同	同
四十八尺	鉄	丸
四十八尺	煉瓦	四角
四十七尺	同	同

○警察の驅逐策　長崎人が無禮の所爲あるみ〳〵の事にあらざれば項追々跋扈し來るを以て少の事なりとも犯罪にす積りなりと云ふ

○鹿兒嶋縣獸醫會　に方に臨時會を開き來月聯合獸醫會に派遣すべ就て協議したるよし

○なぐさ

●新盛座　深川の同座は來る二十日頃が初日頃追々に大切浮瑠璃は上「雪草紙淨瑠璃」「摺小屋內の場」文字千右家妾都屋の場同れ番組